

## 校内研修⑥「研究協議」ワークシートまとめ

### 【柱①：主体的・対話的で深い学びについて】

### 【成果】

### 【課題】

<p>育成を図る資質・能力について (教科等横断的・情報活用能力)</p>	<p>・部活動(技能という点では保体)や技術(制御システム)等、<u>結び付きがあるものについては、教える側の一助にもなり得るので良い。</u></p>	<p>・それぞれがどのように関連しているのかを学ぶことも必要だと感じた。</p>
<p>「課題」「見通し」「振り返り」等は適切か</p>	<p>・個々の経験や活動への結び付け方が良かった。 ・「反応時間の短縮の理由」という課題が、生徒にとって思考や話し合いをしやすいものになっていた。</p>	<p>・生徒から「なぜ早くなったのか」という疑問が出そうなので、それを基に課題を示しても良いのではないかと(「問題」と「課題」を逆にしてみてもどうか)。</p>
<p>「深い学び」になっていたか</p>	<p>・「個人→交流→考えのまとめ」の流れが良かった。 ・<u>知識を自分の生活と結び付けて考えさせたり、まとめたりすることで、「深い学び」へとつなげられていた。</u></p>	
<p>ピクトグラムの位置付けはどうか</p>	<p>・どのような学習活動なのかが明確であった。 ・思考の流れに適したものであった。</p>	
<p>生徒が学びを実感したものになっていたか</p>	<p>・<u>実験が生徒の興味を引くものになっていた。</u> ・実験結果を比較することで興味・関心を高められた。 ・生徒の反応やまとめからも、学びを実感したものになっていたと思う。</p>	<p>・反射の実験について、視覚的反応を除くために、外側を向いたり、目を瞑ったりしても良かったのではないかと。</p>

### 【柱②：ICTの効果的な活用について】

<p>「個別最適な学び」につながるものであったか</p>	<p>・Googleスライドにより、自分以外の考えを見られるのが良い。 ・グループ活動での話し合いにおけるスライドの活用等、理科チームの先進的な取組をこれからも学びたい。</p>	<p>・ルールの徹底など、学習環境を整える必要がある。 ・<u>自分以外の考えを見られるのは良い反面、考える時間を確保する必要もあるのではないかと</u> ・意見整理を効果的に行うためのアプリケーションの使い方について研修を深める必要がある。</p>
<p>「協働的な学び」につながるものであったか</p>	<p>・<u>ホワイトボードを使うなど、ICTに縛られずに協働的な学びに向けて有効な手立てが取れていた。</u> ・他の意見や考えを含めてまとめる活動が効果的であった。</p>	<p>・発表の方法(発表者の選定や時間等)</p>